

令和 8 年度入学試験問題

地 理 歴 史

注 意 事 項

- 1 この問題冊子は、試験開始の合図があるまで開いてはならない。
- 2 問題冊子は、全部で 24 ページある。(落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所などがあつた場合は申し出ること。)

問題冊子の中に下書き用紙が 1 枚入っている。

世 界 史	1 ～ 6 ページ
日 本 史	7 ～ 14 ページ
地 理	15 ～ 24 ページ

- 3 解答用紙は、問題冊子とは別になっている。
- 4 解答は、すべて解答用紙の指定された箇所に記入すること。
- 5 受験番号は、各解答用紙の指定された 2 箇所に必ず記入すること。
- 6 解答時間は、90 分である。
- 7 問題冊子および下書き用紙は、持ち帰ること。

世界史

1 次の文章 A ～ E を読み、問 1 ～問 5 に答えよ。

A アレクサンドロスの東方遠征によって大帝国が築かれたが、彼の死後、部下の将軍たちが争うことになり、この大帝国はアンティゴノス朝マケドニア・

ア 朝シリア・プトレマイオス朝エジプトなどの諸国に分裂した。

B ノルマン人のリュウリクは、東スラヴの地に進出し、イ 国を建てた。^(a)リュウリクの死後、その遺児を奉じたオレーグによってキエフ公国が誕生した。

C モスクワ大公国はイヴァン 3 世の時代に、領域を広げて、キプチャク＝ハン国(ジョチ＝ウルス)の支配から自立した。イヴァン 3 世は、最後のビザンツ皇帝^(b)の親族の娘と結婚して、皇帝を意味する称号 ウ を用いた。

D チャールズ 1 世は、父のジェームズ 1 世よりもさらに専制的な政治を行ったため、議会は「権利の請願」を提出したが、チャールズ 1 世の強権支配は収まることなく、ついに王党派と議会派^(c)との間で、イギリスは内乱状態となった。

E 第一次世界大戦の終結直前、それまでの待遇に不満をもっていたドイツ海軍の水兵たちが エ 軍港で蜂起した。水兵たちの反乱は革命となって全国に広がり、共和国の成立^(d)が宣言された。

問 1 空欄 ア ～ エ に適当な語句を入れよ。

問 2 下線部(a)に関連して，11 世紀におけるノルマン人のイングランドでの活動について，次の語句を用いて説明しなさい。

クヌート	ノルマンディー公ウィリアム
------	---------------

問 3 下線部(b)に関して，ビザンツ帝国において 7 世紀以降，確立した軍管区制（テーマ制）について説明せよ。

問 4 下線部(c)に関して，鉄騎隊を率いて王党派を打ち破った議会派の指導者の名前を記せ。また彼の実施した政策である航海法の意義を説明せよ。

問 5 下線部(d)に関して，1919 年に成立したこの共和国の憲法の名称を記せ。

以下にあげた**史料A・史料B**は13世紀の都市に関する史料である。なお史料は一部を省略し、一部の表現をあらためている。

史料A 神聖にして不可分なる三位一体の名において、神の恩寵に恵まれて常に尊厳なるローマ人の皇帝、エルサレムとシチリアの王、フリードリヒ2世。……以下のことを確固と定め承認する。前述せる都市リュベックは常に自由であること、すなわち、特別の都市であって帝国の地であり、特別に帝国領に属し、いかなる時にも決してその特別の領域から分離されてはならない。……陸路あるいは海路をたどって取引きのために当市を訪れる誠実なる商人たちは誰でも、義務として負っている税を支払う限り、常に無事安全に帰途につくことができるものとする。

(出典：歴史学研究会編『世界史史料』5 岩波書店)

史料B この町(カンバルク)はこれからお話しするようにきわめて大きな町である。……町の中には、大きく立派な宮殿や非常に美しい宿屋や素晴らしい家屋がたくさん立ち並んでいる。……このカンバルクの町には、世界中のどの町にも増して貴重で高価で珍しい品物が到来する。しかも、そのすべての品物について膨大な量が運び込まれるのである。というのも、さまざまな人々がさまざまな地方から、大カーンと、その宮廷と、この広大な町と、そこに暮らす臣下たちや騎兵たちと、およびその周辺に駐屯する大カーンの軍隊のために品物を運んで来るからだ。

(出典：月村辰雄・久保田勝一訳『マルコ・ポーロ 東方見聞録』岩波書店)

史料Aは1226年に都市リュベックに与えられた特許状である。この特許状によってリュベックは自治権を獲得し、13世紀後半以降には北ドイツの都市連合である ア ^(e) 同盟の中心都市となっていく。

史料Bはマルコ＝ポーロの『東方見聞録』(『世界の記述』)のなかで、カンバルクという都市についてふれられた部分である。カンバルクは「カーンの町」という意味で、マルコ＝ポーロが仕えたとされる「大カーン」 イ ^(f) が築いた大都のことである。

問 1 空欄

ア

 ～

イ

 に適当な語句を入れよ。なお、

イ

 には人名が入る。

問 2 下線部(a)に関して、この称号は溯ると古代ローマに由来する。古代ローマの帝政初期における元首政について、簡潔に説明せよ。

問 3 下線部(b)に関して、皇帝フリードリヒ 2 世の死後まもなく、神聖ローマ帝国は「大空位時代」といわれる皇帝不在の混乱期に入る。こうした混乱を防ぐために皇帝カール 4 世が 1356 年に出した皇帝選挙の手續や選帝侯などについて定めた法(文書)の名称を記せ。

問 4 下線部(c)に関連して、中世ヨーロッパの遠隔地貿易について、地中海と北ヨーロッパ(北海・バルト海)の二つの商業圏(交易圏)に注目して、以下の語句を用いて 100 字以内で説明せよ。なお、語句を使用する回数、順序は問わないが、使用する箇所には下線を引くこと。

東方貿易	香辛料	毛織物
------	-----	-----

問 5 下線部(d)に関連して、元における交易で銀とともに決済に用いられた紙幣の名称を記せ。

問 6 下線部(e)に関して、中世ヨーロッパの都市の運営は当初大商人が担っていたが、彼らの組織していた同業組合を何というか、名称を記せ。

問 7 下線部(f)に関して、大都を中心とした交易・情報ネットワークについて、以下の語句を用いて 70 字以内で説明せよ。なお、語句を使用する回数、順序は問わないが、使用する箇所には下線を引くこと。

駅伝	海運
----	----

3 次の文章を読み、問 1 ～問 7 に答えよ。なお引用文は一部の表現をあらためて
いる。

ゴードンは、1833 年生まれのイギリス軍人である。陸軍工兵隊に属していた。
まず、1854 年、^(a)クリミア戦争に参加し、セヴァストポリ要塞戦で戦功を
あげた。^(b)ついで 1860 年、^(c)第二次アヘン戦争(アロー戦争)のときの中国派遣軍に
加わった。この戦争が終わった後、ゴードンは天津城から少し離れた海河ぞいの
地区を測量し、駐屯地に仮設兵舎をつくった。これが、天津イギリス租界の起源
である。

1863 年、ゴードンは^(d)太平天国の鎮圧にあたる常勝軍の指揮官を命じられた。
このころ清朝は太平天国の鎮圧に苦慮しており、関係を改善したイギリス側に支
援を求めたからである。常勝軍を管轄していたのは^(e)李鴻章だったが、ゴードンは
ときに李鴻章と対立しつつも清朝側の勝利に大きな役割を果たした。

ゴードンは、イギリス帰国後は閑職のなか宗教的思索にふけり、聖書を繰り返
し読んだ。その後、スーダンなどでの軍務のあと、1880 年、清朝とロシアが開
戦の危機に直面したとき、またも清朝を助けようと李鴻章のもとにやってきた。
84 年、スーダンで 運動という宗教勢力が拡大して反エジプトの武力
攻撃を進めハルトゥームに迫ったとき、駐屯していた^(f)エジプト軍は撤退しなくて
はならなかった。イギリスに実質支配されるエジプト政府から、その撤退の任務
をまかせられたゴードンは、ときのイギリス首相グラッドストーンの方針と対立
し、1885 年、ついに 軍に包囲されて戦死した。天津のゴードン・
ホール落成は、その五年後のことである。

(出典：吉澤誠一郎『清朝と近代世界——19 世紀』岩波書店)

問 1 空欄 に入る適切な語句を記せ。

問 2 下線部(a)に関して、次の①、②の問いに答えよ。

① 1857 年、インドではイギリス東インド会社のインド人傭兵による大規模な反乱が発生した。このインド人傭兵のことを何と呼ぶか、名称を記せ。

② ビルマはイギリスと三度にわたる戦争を行った後、インド帝国に併合された。この時のビルマの王朝の名称を記せ。

問 3 下線部(b)に関して、クリミア戦争の講和条約の名称を記せ。

問 4 下線部(c)に関して、第二次アヘン戦争に乗じてロシアが領土を獲得し、勢力を広げた過程を、以下の語句を用いて説明せよ。なお、使用する回数、順番は問わないが、使用する箇所には下線を引くこと。

黒竜江以北	ウラジオストク港
-------	----------

問 5 下線部(d)に関して、太平天国を建てた指導者の名前を記せ。

問 6 下線部(e)に関して、李鴻章らによって行われた洋務運動の概要を説明せよ。

問 7 下線部(f)に関して、ナポレオン遠征軍が撤退した後、19 世紀初頭にエジプト総督となり、この地を統治した人物の名前を記せ。